

- 問1 中国の主要都市における一月の平均気温と降水量の特徴について述べた次の文のうち、正しいものはどれですか。 (2020年 鳥取県公立入試 類似)
1. 一月の平均気温は、北部のシェンヤン（瀋陽）よりも南部のコワンチョウ（広州）の方が高い
 2. 北京の年間降水量は、南方の上海よりも多く、熱帯モンスーンの影響を強く受けている
 3. 年間の降水量は、沿岸部に位置する上海よりも内陸部の都市の方が全体的に多い
 4. 一月の平均気温は、緯度に関わらず大陸の東側よりも西側の内陸部の方が高い
- 問2 ある南アジアの島国における輸出統計では、繊維製品や船舶類と並んで紅茶（茶）が大きな割合を占めています。この国の文化や産業の背景について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2022年 三重県公立入試 類似)
1. 住民の約7割がイスラム教徒であり、西アジア諸国との経済的な結びつきが非常に強い。
 2. 広大な平原を利用した小麦の企業的牧畜が盛んで、乾燥した気候に適した産業が発達している。
 3. 豊富な原油や天然ガスを輸出の柱としており、南アジア最大の資源産出国である。
 4. イギリスの植民地時代にプランテーションが作られた影響で、茶の栽培が盛んになった。
- 問3 1980年代後半には輸出総額の約15%を繊維品が占めていたある国では、2010年代後半になると機械類が輸出総額の4割以上を占めるようになり、輸出総額自体も数十倍へと劇的に増加しました。このような輸出構造の変化が起きた背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 福岡県公立入試 類似)
1. 国内の資源消費を抑えるため、農産物や鉱産資源の輸出を大幅に増やし、加工貿易から資源輸出国へと転換した。
 2. 安価な労働力を背景とした軽工業中心の構造から、技術力の向上に伴い、電気機器などの高度な工業製品を生産する構造へと転換した。
 3. 伝統的な手工業を保護するために、外国からの機械類の輸入を厳しく制限し、自国独自の繊維産業を再興させた。
 4. 国内の労働力不足に対応するため、産業の中心を第二次産業から第一次産業へと意図的に回帰させた。
- 問4 北側にヒマラヤ山脈がそびえ、南側のアラビア海へと注ぐ大河の流域に位置する地点で発展した文明について、その特徴を説明した記述として正しいものはどれか。 (2015年 岡山県公立入試 類似)
1. 巨大なピラミッドが建設され、王は神の化身として絶対的な権力を持っていた。
 2. 灌漑農業によって強力な国家が形成され、青銅器とともに鉄器が早い段階で普及した。
 3. 印章と呼ばれるハンコのような遺物が発見されており、独自の文字が刻まれている。
 4. 周囲に高い山や砂漠などの障壁が少なかったため、異民族の侵入が頻繁に起こった。
- 問5 インドにおいて、植民地時代の名残から共通語として英語が普及していることや、高い数学・技術教育を背景に急速に成長した、情報通信技術に関する産業を何と呼びますか。最も適切なものを次のうちから1つ選びなさい。 (2022年 宮崎県公立入試 類似)
1. ICT産業
 2. 重化学工業
 3. バイオ産業
 4. 自動車産業
- 問6 中国の石炭消費量は、2010年の約3,200百万トンから2014年の約4,100百万トンへと急増しました。この背景にある事情と、それによって生じている影響についての説明として適切なものを選択してください。 (2018年 長崎県公立入試 類似)
1. 原子力発電所の全廃による代替エネルギー需要が背景にあり、酸性雨の被害が周辺諸国を含め解消に向かっている。
 2. 生活水準の向上による家庭用ガス燃料への転換が背景にあり、温室効果ガスの排出抑制に成功している。
 3. 急速な経済成長に伴う電力需要や工業生産の拡大が背景にあり、PM2.5などによる大気汚染が問題となっている。
 4. 内陸部の砂漠化防止を目的とした大規模な植林事業が背景にあり、石炭の灰が肥料として活用されている。
- 問7 人口が約13億9千万人に達するインドにおいて、統計上、全人口の約80パーセントを占めている宗教はどれですか。 (2020年 神奈川県公立入試 類似)
1. キリスト教
 2. ヒンドゥー教
 3. 仏教
 4. イスラム教
- 問8 東南アジア諸国連合（ASEAN）の一員であるベトナムの経済的な特徴について、各国の経済状況を説明した次の文のうち、ベトナムに該当するものを一つ選びなさい。 (2021年 新潟県公立入試 類似)
1. 外国からの直接投資や企業進出を積極的に受け入れることで、工業化を推進している。
 2. アンデス山脈などの広大な高地において、伝統的な放牧を中心とした産業を営んでいる。
 3. 欧州連合（EU）に加盟しており、共通通貨の導入によって近隣諸国との経済統合を進めている。
 4. ペルシア湾岸に位置する資源国であり、原油の輸出が国家財政の大部分を占めている。
- 問9 西アジア地域の自然環境や産業の特色について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 北極点に近い高緯度地域であるため、一年中氷に覆われた寒冷な気候を利用した水産業が中心である。
 2. 大部分が乾燥帯に属して砂漠や草原が広がっており、石油などのエネルギー資源が豊富に産出される。
 3. 季節風（モンスーン）の影響を強く受けるため、年間を通じて降水量が多く、古くから稲作が盛んである。
 4. 多くの島々からなる地域であり、熱帯雨林気候を活かした天然ゴムやバナナのプランテーション農業が行われている。
- 問10 南アジア諸国の宗教 distribution（分布）について述べた文として、正しいものはどれか。ただし、インドはヒンドゥー教徒が多数派であるものとする。 (2023年 岩手県公立入試 類似)
1. 南アジア全域において、仏教が最も信仰されている地域は、パキスタンからアフガニスタンにかけての国境地帯である。
 2. インドの西側に位置するパキスタンや、東側のバングラデシュでは、イスラム教徒が多数を占めている。
 3. 南アジアの島国であるスリランカでは、インドと同様にヒンドゥー教徒が人口の9割を超えている。
 4. インドの北側に位置するネパールは、世界で唯一キリスト教を国教とする国として知られている。
- 問11 アジア各地域の産業の特色をまとめた記述のうち、地域名と産業の実態が正しく組み合わせられているものを選んでください。 (2018年 岩手県公立入試 類似)
1. 東南アジア：工業団地への外国企業の進出が進み、電気機械などの生産が盛んになっている
 2. 北アジア（ロシア付近）：天然ゴムや木材の生産から、電気機械の生産拠点への転換が最も早く進んだ
 3. 東アジア（中国東部など）：石油の輸出収益を背景に、大規模な海水淡水化プロジェクトを主導している
 4. 西アジア：英語を話せる豊富な人材を背景に、IT産業やコールセンターが増加している
- 問12 東南アジア諸国連合（ASEAN）に加盟するインドネシアでは、近年、産業構造が劇的に変化しました。1980年当時は原油や天然ゴムなどの輸出が目立っていましたが、2016年には輸出総額が大幅に増え、機械類が主要な輸出項目となっています。このような変化が起こった背景として、共通する東南アジア諸国の状況を説明したものとして適切なものはどれですか。 (2019年 山形県公立入試 類似)
1. 海外からの投資や企業の進出が進み、製品を組み立てて輸出する拠点が形成されたため
 2. 輸出を制限し、国内で消費する分だけを生産する自給自足の体制を整えたため
 3. 特定の農産物のみを栽培するモノカルチャー経済を維持する政策をとったため
 4. 天然資源が枯渇したことで、やむを得ず農業中心の社会へと回帰したため